

## Ⅳ 老人クラブの発展計画・実践提案（全国老人クラブ連合会）

### ◆会員増強への取り組み

老人クラブの意義や有効性への理解を深め、健康づくり・介護予防活動や友愛活動など具体の活動をとおして会員増強の取り組みを推進します。

### ◆高齢者の健康づくり・生活支援活動の推進

わが国では、誰もが住み慣れた地域で生きがいをもって暮らし、共に支え合う「地域共生社会」の実現を目指しています。官民が一体となってすすめるこの取り組みにおいて、老人クラブではこれまでの活動の実績を活かし、健康寿命の延伸と地域における支え合いの活動のすそ野を広げるため、積極的に次の活動に取り組みます。

<健康づくり>

健康を保持・増進するフレイル（虚弱）予防活動  
（運動、栄養、社会参加を柱とした学習と実践）

<生活支援>

友愛活動を基盤とした幅広い生活支援活動  
（多様な生活支援・通いの場づくり、見守り支援、健康づくり支援、情報伝達支援）

### ◆新地域支援事業（介護予防・日常生活支援総合事業）に向けての行動提案

介護保険制度の改正に伴い要支援に認定された高齢者への介護サービスのうち、訪問介護、通所介護市町村ごとに実施されています。要支援高齢者は増加傾向にあり、この方々の介護や生活を支えることは喫緊の課題です。老人クラブがこれまで取り組んできた健康づくり・介護予防活動、友愛活動を活かして、「新地域支援事業」に参画し、高齢者が相互に支え合う取り組みを実施しましょう。

・新地域支援事業に向けての行動提案（29 ページ）

### ◆老人クラブ高齢消費者被害防止キャンペーン

高齢消費者被害が社会問題となる中、高齢者が主体となったキャンペーンに取り組んできました。単位クラブに「見守りサポーター」を設置して、情報を伝え、仲間の様子を気にかけて、関係機関とのつながりを通じて、地域の高齢者の被害を防ぎましょう。

**「新地域支援事業」に向けての行動提案**  
～老人クラブ・高齢者が介護予防・生活支援の担い手に～

平成 27 年 3 月

1. 市町村老連は、速やかに市町村行政の対応計画を把握し、首長や担当者に老人クラブの事業（活動）について説明し、新地域支援事業との関連を再認識してもらうようにしましょう。

- ① 市町村からの説明への対応
- ② 協議の場（協議体）への参加

2. 老人クラブの事業（活動）が新地域支援事業として認められるよう、積極的に働きかけましょう。

- ① 老人クラブ活動を活かした介護予防・生活支援活動

- ② 老人クラブによる介護予防・生活支援サービス

- ③ その他の具体的な事例

- ・ 多様な通いの場

交流サロン・喫茶室、趣味サークル、健康教室、体力測定、介護予防教室、等

- ・ 多様な生活支援

声かけ、安否確認（電話訪問）、見守り、話し相手、お知らせ届け等情報提供、

高齢者詐欺被害防止、防火・防犯・防災や災害避難協力、

付添い（通院・買い物・墓参・サロンやクラブ活動場所への同行）、

軽作業（電球・電池・水道パッキン等交換、重量物や高所物の移動、障子張替え、雑草刈り、植木剪定、簡単な家の補修、等）

家事手伝い（掃除、窓拭き、草むしり、ごみ出し、布団干し、等）、

買物や諸手続き代行、配食、移送サービス、等

3. 新地域支援事業に取り組むことで、老人クラブ活動が一層活性化され「100万人会員増強運動」に弾みをつけることになります。

